

みずほCustomer Desk Report 2019/12/27号 (As of 2019/12/26)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	109.59
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	109.38	1.1095	121.35	1.2973	0.6925
SYD-NY High	109.68	1.1109	121.80	1.3016	0.6949
SYD-NY Low	109.37	1.1083	121.30	1.2963	0.6922
NY 5:00 PM	109.65	1.1096	121.65	1.2994	0.6947
NY DOW	28,621.39	105.94	日本2年債	-0.120	0.00bp
NASDAQ	9,022.39	69.51	日本10年債	-0.020	0.00bp
S&P	3,239.91	16.53	米国2年債	1.6320	0.60bp
日経平均	23,924.92	142.05	米国5年債	1.7181	0.91bp
TOPIX	1,731.20	9.78	米国10年債	1.8935	▲0.88bp
シカゴ日経先物	23,955.00	175.00	独10年債	休場	-
ロンドンFT	休場	-	英10年債	休場	-
DAX	休場	-	豪10年債	休場	-
ハンセン指数	休場	-	USDJPY 1M Vol	4.10	0.15%
上海総合	3,007.35	25.47	USDJPY 3M Vol	5.09	0.09%
NY金	1,514.40	9.60	USDJPY 6M Vol	5.55	0.03%
WTI	61.68	0.57	USDJPY 1M 25RR	-0.85	Yen Call Over
CRB指数	186.68	1.15	EURJPY 3M Vol	5.37	▲0.02%
ドルインデックス	97.57	▲0.08	EURJPY 6M Vol	5.93	0.05%

東京	東京時間のドル円は109.38レベルでスタート。日経平均株価が上昇する中、仲値にかけてドル円は確りと推移すると、その後一時高値109.57を付けるなど堅調さを維持。午後には黒田日銀総裁が「物価安定目標に向けたモメンタムが損なわれる恐れが高まれば躊躇なく追加緩和措置を講じる」などと発言するもドル円の反応は限定的となり、109.55レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	休場
ニューヨーク	海外市場のドル円は、日本の仲値にかけてドル買いが優勢となり、109.57まで上昇。欧州時間は109.60近辺の狭いレンジで推移し、そのまま109.60レベルでNYオープン。朝方は、米新規失業保険申請件数と米失業保険継続受給者数が予想を上回ったが、ドル円の反応は限定的だった。その後「北朝鮮のミサイルが落下した」との報道が流れたものの、直ぐに速報が誤りだったと伝わったこともあり、市場は反応薄だった。手掛かり材料が乏しい中、米株の堅調推移を受けて、米金利の小幅上昇とともにドル円は109.68まで買われるが、12月高値(109.78)の手前となるこの水準で上値が重くなり、小幅反落。終盤は109.60近辺で小動きとなり、109.65レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロ円は、ボクシングデーで欧州の市場参加者が少ない中、1.1090近辺で方向感無く推移し、1.1093レベルでNYオープン。特段のヘッドラインが見当たらない中、米株の上昇を受けて円売りが進み、ユーロ円の上昇に連れ高となり、1.1109をつける。買い一巡は、小幅反落し、1.1096レベルでクローズ。

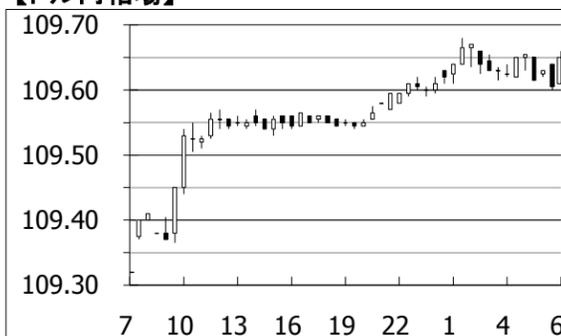
【昨日の指標等】

Date	Time	米	Event	結果	予想
12月26日	22:30	米	新規失業保険申請件数	21-Dec	222k

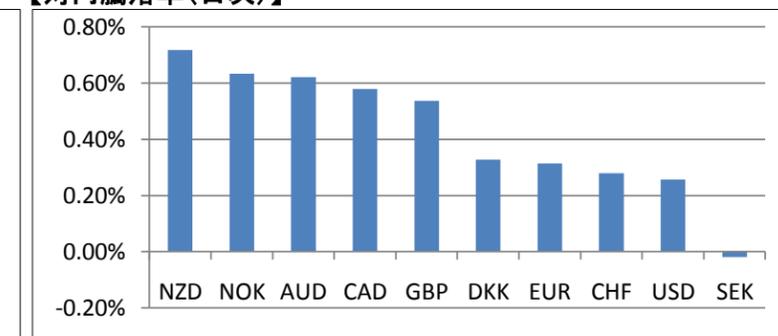
【本日の予定】

Date	Time	日	Event	12月	予想	前回
12月27日	08:30	日	東京CPI/コアCPI/コアコアCPI	12月	0.9%/0.6%/0.7%	0.8%/0.6%/0.7%
	08:30	日	失業率	11月	2.4%	2.4%
	08:50	日	日銀金融政策決定会合 主な意見	-	-	-
	08:50	日	鉱工業生産・速報(前月比/前年比)	11月	-1%/-8.1%	-4.5%/-7.7%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】 近いようで遠い110円

ドル円のボラティリティが史上最低水準を更新したことが物語るように、2019年のドル円は過去最小レンジでの推移となった。まさに今年の相場の格言「亥：固まる」通りと言わざるをえないこの展開、来年こそは「子：繁栄」の格言に従い、ドル円が恐ろしいほどに高い「110円」という壁を勢いよく上抜けて上昇していく展開を期待したいところだ。しかしながら、少なくとも米大統領選を終えるまでに110円突破という流れは、なかなかハードルが高いのだろう。米中協議の部分合意・英総選挙での与党勝利という、今年の2大テーマの進展をもってしても突破できなかった110円の壁。200週移動平均がドル円ローソク足の上に重くのしかかる。次期大統領も見据えるトランプ大統領が米中貿易交渉のカードを手放すことは考え難くこのテーマが完全に不透明感を払拭することはないであろう点や、来年末まで合意なきEU離脱リスクが熾り続ける点を勘案すると、来年もこの2大材料を巡る不透明感はドル円の上値を抑える要因となりそう。むしろ、これらのテーマが今月相次いで進展したことにより市場に楽観的ムードが漂っていることを考えると、トランプ大統領やジョンソン首相の突発的な行動により一気にセンチメントが悪化し、株安・ドル円が急落するリスクに備えるべきなのだろう。米大統領選挙を控える中、105円台などの急激な下落は想定していないが、107円程度へのドル円下落リスクについては念頭に置いておきたい。

本日が年内最終営業日という事業法人様におかれましては、今年もみずほをご利用頂き誠にありがとうございました。来年もより一層、皆様のご商売に役立てるよう一同精進して参りますので、今度とも宜しくお願い致します。(逸見)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 逸見・高村 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	関	光石	山岸	田坂	尾身	上野
ペア	ペア	ブル	ブル	ペア	ブル	ペア	ブル	ペア	ブル
岡本	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	谷舗
ブル	ブル	ペア	ペア	ブル	ペア	ブル	ブル	ブル	ペア

ブル	ペア
11	9